



一泉

発行所 一泉同窓会

〒921-8517 金沢市泉野出町3丁目10-10
石川県立金沢泉丘高校内

TEL (076) 242-0211 FAX (076) 216-5656

E-mail: issen_knz@hotmail.com

2022(令和4)年3月31日発行 第49号

創立130周年に向けて力の結集を

同窓会・学校・生徒・PTAが一体となり展開図る

「一泉同窓会」会員の皆様には、ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。皆様には日頃より「一泉同窓会」の活動に対し深いご理解とご協力を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。一泉同窓会は「一泉の伝統を守り継続してゆくこと」、「会員相互の親睦を図ること」、「泉丘高校や現役生の学習環境の向上に協力すること」を目指し日々活動を行っています。本校は明治26年に石川県尋常中学校として発足以来、石川県立第一中学校、県立金沢第一中学校、県立金沢第一高等学校、そして県立金沢泉丘高等学校と名称を変更しつつ今日まで4万余人の同窓生を輩出し、一泉の志を受け継いだ有能な人材を国内外に送り出し続けております。我が母校は令和5年（2023年）に創立130周年を迎えます。来る節目の年に同窓会・学校・生徒・PTAが一体となった活動を展開したいと考えております。一昨年より蔓延しているコロナ禍の状況下ではございますが、各位におかれましては記念事業・行事の内容をご賢察の上、何卒趣旨にご理解・ご賛同をいただき、事業に対するご協力を賜りますようお願い申し上げます。



一泉同窓会会長 中村太郎

一泉創立130周年記念事業（予定）

<同窓会事業>

1 グローバル人材教育支援 基金募金事業

創立130周年でコア事業の一つに位置づけ、新たに寄付金を募り一泉同窓会基金を充実させ支援財源の安定化を図る。

2 校庭桜植え替え事業

一泉のシンボル樹である桜。校庭のソメイヨシノがいずれも高樹齢となっており、永続的に桜が咲く校庭とするため、創立140周年事業にかけての継続的な事業として4期に区分した桜の植え替え事業に着手する（事業完成は創立150周年時を予定）。

3 部活動用バス贈呈事業

創立100周年を機に開始した本事業では周年ごとにバスのリニューアルを行ってきた。130周年でマイクロバス2台とワゴン車1台を更新する。

4 同窓生名簿出版は取りやめ

同窓会にとっての名簿の意義、同窓生の希望や発行のメリット、デメリットなどを多方面から協議した結果、準備会委員全会一致で今回、名簿発行を取りやめることになった。

<学校事業、学校主催記念行事>

1 近十年史刊行事業

2 記念式典（2023年10月15日 啓泉講堂）

<学校・同窓会共催記念行事>

グローバルシンポジウム

さまざまな分野で得意なものを持った若者が世界へ羽ばたく意識の改革や、グローバル社会で働くための高いビジョンを持つ契機とする。生徒たちの成長を促進し、地域や社会の発展に貢献する人材の育成につながることを期待する。2023年8月25日（金）金沢歌劇座大ホールで開催を予定。

<同窓会主催記念行事>

1 祝賀会（同窓会総会懇親会）

2023年10月15日（日）ホテル日航金沢

2 記念ゴルフコンペ

2023年10月9日（月）片山津ゴルフ倶楽部

3 記念美術・工芸・写真展

全卒業生、現役生から出展作品を募集

創立130周年記念事業実行委員会委員名簿は2Pに掲載

一泉同窓会基金寄付活動報告 助成事業

*収支報告 (2021年3月末実績)

寄付累計金額	3,646,000円	(2019年10月より)
件数	45件	
2021年度助成計画	合計額	2,900,000円
グローバル人材育成教育支援		2,350,000円
教育振興 (SSH, SGHほか)		400,000円
書籍購入		100,000円
国際交流活動助成		50,000円

*寄付者の声

『卒業生でもあり、旧職員でもありますがSGH事業は本当に学校全体にいい影響を与えてくれました。ぜひできる範囲でも構わないので続けていただきたく、ほんの少しですが寄付いたします。』

『金沢泉丘高校での青春と感動が、自分自身の価値観を形成してくれました。泉での泣き笑いが本当に尊く、今でも私の誇りです。若き現役生のみなさんのこと、ずっと応援させていただきます。一泉魂、永遠に。』

*活動報告

昨年度に引き続き今年度も新型コロナ対応の制約を受け対面型の活動が大きな制約を受けた。特に海外研修は2年連続で実施ができなかった。しかし、これに代わる方法として海外学生との国際交流をオンライン活用により行ったほか、その他の活動についても対面とオンラインの併用、コロナ感染対応に配慮した校外活動の実施など、制約を受けながらも可能な限り最大限の活動を行った。

主な対外行事は次の通り。

1. 課題研究教育の一環

- (1) ニュージーランド大学生との交流 (4月20日) オンライン
- (2) プリンストン大学生との交流 (6月29日) (8月3日) オンライン
- (3) SSH・SGHコース3年生課題研究成果発表会 (7月15日) オンライン
- (4) SSH・SGHコース2年生課題研究成果発表会 (2022年2月4日) オンライン、対面併用

2. 進路検討や自己実現意欲を高めるための教育の一環

- (1) 「社会人と語る会 (職業教育、リーダー養成教育の一環)」、「先輩に学ぶプレゼン術」(11月3日) 対面

3. フィールドワーク

- (1) サイエンスフェスタの開催 (片野海岸・塩屋海岸・鹿島の森での実習と校内学習)
2日目、3日目は校内学習 (10月12日～14日)
- (2) 京都大学大学院総合生存学館思修館訪問 (10月27日)

NZの大学生とオンライン交流

対外行事のうち、SGコース3年生40人とニュージーランドの大学で日本語を勉強する大学生11人とのオンライン交流会は4月20日、泉丘高校で開かれ、日本文化をテーマに意見交換を行った。ニュージーランド側は、日本や中国、韓国との交流促進を目的にニュージーランド政府が設立したNorth Asia CAPE (北アジアCAPE) に所属する大学生11人が参加した。



一泉創立130周年記念事業実行委員会委員は次の皆さん

【同窓会】中村太郎実行委員長 (泉丘35期) 林隆信 (同22期) 中山一郎 (同10期) 清水義博 (同22期) 諸野普 (同22期) 宮地治 (同23期) 大砂雅子 (同26期) 温井伸 (同26期) 小林真 (同27期) 竹澤敦子 (同29期) 中村和哉 (同30期) 玉川昌範 (同31期) 植村まゆみ (同33期) 至極明子 (同34期) 鶴見恵理 (同35期) 浦淳 (同36期) 澁谷英利 (同36期) 塩谷真一郎 (同37期) 福田長太郎 (同37期) 北川雅一郎 (同39期) 馬場康行 (同39期) 川下英和 (同40期) 小倉一郎 (同40期) 中佐訓康 (総会幹事 同40期) 梅谷基樹 (同42期) 中西祐一 (同46期) 鶴山雄一 (同51期) 加藤次男 (通信22期) 笠松寿美子 (通信41期) 林昭悦 (一泉桜美会代表 泉丘17期)

【学校】中村義治校長 (泉丘33期) 荒木浩一事務長 (同32期)

医療法人社団
かいしん会

ますなが医院

理事長 増永 荘平 (泉丘27期)

〒354-0031 埼玉県富士見市勝瀬739-1
TEL (049) 264-1511
<http://www.masunaga-clinic.com/>

中央総合法律事務所 弁護士
元 大阪地方検察庁 検事正

北川 健太郎 (泉丘30期)

〒530-0047 大阪市北区西天満2丁目10番2号
幸田ビル 受付5階
TEL (06) 6365-8111
<https://www.clo.jp/lawyers/2281/>

北川共同法律事務所

弁護士 北川 秀二 (泉丘30期)
(北川瀝青工業株式会社 代表取締役)

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町11-9
ストーク四谷 102
TEL (03) 5341-4477
E-mail: ks@kitagawa-law.jp

12人の先輩招き進路を学ぶ 2年生が「社会人と語る会」

令和3年度の「社会人と語る会」は11月3日、泉丘高校で開かれ、幅広い分野で活躍する卒業生12人が母校の教壇に立ち、自らの仕事内容や社会人としての経験などを後輩に語った。

「語る会」は進路選択を進める2年生を対象に行われ、先輩の体験談を自らのキャリア形成に役立ててもらうために開催された。講師を務める先輩たちは行政や民間企業など働く場もさまざまであり、国家公務員や弁護士、中小企業診断士、医師、製薬・機械・建築などの民間企業に勤めるビジネスマン、起業家とバラエティに富み、多方面で力を発揮している。

生徒たちは先輩が感じた仕事のやりがいや働く喜び、苦労や失敗など生の声を通して、多種多様な職種を知り、それぞれの仕事をするために必要な能力や日常の物事の取り組み方を学び、目指す分野に進むための勉強方法、大学・学部を選び方に触れる機会となった。

社会人に向けて準備をする生徒にとって、卒業生の話は非常に興味深く、熱心にメモを取りながら話に聞き入った。

講師を務めたのは次の皆さん。

◇公務員(文系)国家公務員 佐々木美穂(外務省総合外交政策局女性参画推進室 泉丘48期) ◇公務員(理系)国家公務員 山崎知巳(東京大学Beyond AI 研究推進機構・副機構長=経産省から出向 泉丘37期) ◇法律弁護士 坂次哲也(菅場健一郎法律事務所 泉丘40期) ◇国際関係 河合健(タキイ種苗(株) 泉丘41期) ◇ビジネス 中佐訓康(中小企業診断士=石川県中小企業診断士会副会長、中佐経営診断事務所 泉丘40期) ◇ビジネス 山本司(富士通(株) Manufacturing



佐々木美穂さん



山崎知巳さん



坂次哲也さん



河合健さん



中佐訓康さん



山本司さん



山本雄貴さん



宮崎俊聡さん



堀雅子さん

事業本部組立インダストリー事業部シニアマネージャー 泉丘39期) ◇ビジネス 山本雄貴((株)ドローンショー代表取締役社長 泉丘54期) ◇医療関係 宮崎俊聡(南ヶ丘病院 理事長・医師 泉丘31期) ◇医療関係 堀雅子(大正製薬(株) 泉丘40期) ◇機械・電気・電子関係 河本基一郎(コマツ産機(株)執行役員営業本部長=工学博士 泉丘37期) ◇建築関係 伊東浩司(清水建設(株) 環境経営推進室 企画部 (兼)安全環境本部環境部部長 泉丘37期) ◇コンピューター関係 清水道子(日本IBM(株)金融サービス事業部 泉丘40期)



河本基一郎さん



伊東浩司さん



清水道子さん



仕事の内容を伝える先輩

大学の魅力や学び方を伝える 難関大学進学卒業生と語る会

1年生を対象とした「難関大学進学卒業生と語る会」は11月3日に行われた。

東大、京大などに進学した卒業生16人が来校、各クラスで登壇し、それぞれの大学の魅力や学ぶおもしろさ、高校時代の勉強方法などについて語った。

大学生講師は次の皆さん。

◇東京大学 橋元菜摘(理科二類)、杉森未彩(文科二類)、齋藤圭祐(文科三類)、荻野恭輔(理科一類) ◇京都大学 田岸裕貴(医・人間健康科学)、西田海(法)、西舞子(文・人文)、小林郁斗(法)、中島こと(総合人間・人間科学)、徳田駿(工・工業化学) ◇北海道大学 山下怜(法Ⅰ) ◇大阪大学 茂野凧沙(外国語・スワヒリ)、前田竜徳(基礎工・情報科学) ◇名古屋大学 小野咲奈(農・資源生物科学) ◇金沢大学 信濃未玖(医薬保健・医学類)、河合彪吾(医薬保健・医学類)



代表取締役社長 山本 慎一郎(泉丘30期)

株式会社カスミ

〒305-8510 茨城県つくば市西大橋599-1

TEL (029) 850-1850

<https://www.kasumi.co.jp/>

はちのへ西脳神経クリニック

日本脳神経外科学会専門医

院長 真鍋 宏(泉丘31期)

〒039-1101 青森県八戸市尻内町鴨ヶ池15-1

TEL (0178) 20-8122 FAX (0178) 20-8123

株式会社IHIフォイトペーパーテクノロジー

代表取締役社長 野上 哲彦(泉丘33期)

〒104-0051 東京都中央区佃二丁目1番6号
リバーシティM-SQUARE 7階

TEL (03) 6221-3100

<http://www.voithihi.com>

新聞部、西尾朋人君に栄冠 令和3年度 一泉賞

令和3年度の「一泉賞」に新聞部（団体）と西尾朋人君（個人）が選ばれた。新聞部は令和2年度の第24回全国高校新聞年間紙面審査賞で最優秀賞に輝いたのをはじめ、県内の高校新聞部をけん引する活動ぶりが評価された。西尾君は化学グランプリ2021と物理チャレンジ2021にそれぞれ出場し、いずれも金賞を受賞する成績を挙げたことなどから受賞の栄誉に輝いた。

一泉賞は平成6（1994）年に創立100周年記念事業の一環として設立され、学業と課外活動を両立させた生徒に贈られている。受賞概要は次の通り。

▽新聞部 堤礼斗君が代表を務め、令和2年度の第24回全国高校新聞年間紙面審査賞で第1位に相当する最優秀賞に輝き、令和元年および2年次に連続して石川県文化優秀賞を受賞した。平成27年度から7年連続で石川県高校新聞コンクール最優秀賞を受賞した。コロナ禍の中、活動に工夫を凝らして新聞を制作した。



堤礼斗君（新聞部代表）



西尾朋人君

「いずみの原速報」発行回数を増やし、3年間で60号に及んでいる。

▽西尾朋人君 スーパーサイエンス部に所属し、多方面で才能を発揮した。化学グランプリ2021と物理チャレンジ2021に出場し2つで金賞を受賞するなど極めて優秀な成績を収めた。科学グランプリ2021は全国3257人が受験、二次選考119人中大賞5人、金賞18人、銀賞17人、銅賞40人だった。物理チャレンジ2021は903人が受験、二次選考115人中金賞6人、銀賞12人、銅賞12人だった。また、第10回科学の甲子園でも代表生徒として全国16位へと導いた。

同窓会 だより

初のオンライン開催で懇親深める 関東一泉同窓会が総会

関東一泉同窓会の総会・懇親会は10月23日、初のオンラインで開催し、海外や全国各地からの参加者も含めて230人がネットを通して懇親を深めた。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となっており、2年ぶりの開催となった。オンラインでの参加に不慣れな会員には開催前に二度にわたって練習会が実施され、当日も接続できない会員向けに電話で対応するヘルプデスクを設けて希望者の要望に応える体制を整えた。

オンライン開催の強みを生かし、参加者は海外に加え、北は仙台、南は鹿児島にもおよんだ。子育て世代も託児を気にせず参加できたという声もあった。懇親会では事前に公募した学生当時の写真や同窓会に保管

されている貴重映像をまとめた「一泉タイムマシーンムービー」を上映し、懇談できるルームも活用し、校歌斉唱も行われた。

改選に伴う関東一泉同窓会役員は次の皆さん。

▽会長 北川秀二（泉丘30期）▽副会長 山本慎一郎（同30期）、中嶋敦史（同33期）、土井下健治（同36期）、斉藤秀之（同37期）
▽監事 川瀬真人（同26期、新任）、堀浩明（同28期）▽事務局長 田中巧（同30期）



西村あさひ法律事務所
NISHIMURA & ASAHİ

パートナー 南 賢一（泉丘35期）
弁護士

〒100-8124 東京都千代田区大手町1-1-2
大手門タワー
TEL (03) 6250-6200 (代)
<https://www.nishimura.com/>



MARKTEC

代表取締役社長 西本 圭吾（泉丘38期）

新事業推進・マーケティングの総合メーカー

マークテック株式会社

〒143-0015

東京都大田区大森西
4丁目17番35号

TEL (03) 3762-4451

FAX (03) 3764-4337

<https://www.marktec.co.jp/>



ALCONIX

PAVING THE WAY



WINDEC

Windec Corporation

Windec Corporation

Windec Corporation

Windec Corporation



HONDA

DYNAMICS

Honda Dynamics

Honda Dynamics

Honda Dynamics

AMBIENTE
ORIGINAL ANNIVERSARY ITEM
アンビエンテのキャンパスプリント

株式会社ヘキサゴン

代表取締役 中村 太郎（泉丘40期）

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-35-10-3F

TEL (03) 5304-9557 E-mail: info@hxg.co.jp

URL: <https://www.hxg.co.jp>

O B 会 だ よ り

野 球 部

野球部OB会総会

NTT ドコモ百々さん(47期)が講演

一泉野球部OB会第24回総会は7月3日、金沢市文化ホール大集会室で開かれ、出席者20名が母校の活躍に向けて支援の輪を広げることを誓い合った。NTTドコモに勤務する百々大介さん(泉丘47期)が今後の経済活動の回復やOB間のビジネス交流促進などをテーマに講演を行った。

総会は昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染防止に万全を期して開催された。総会では能崎晋一会長(同35期)が議長を務め、石村崇嗣さん(同46期)の進行で行われた。

令和2年度の事業報告と決算、令和3年度の事業計画と予算が審議され、原案どおり承認された。講演会の後、宮地治歴代会長(同23期)から近況報告が行われ、山本勝己副会長(同39期)が閉会の挨拶を行った。
(土倉拓樹=泉丘45期 記)



講演会も行われた総会=金沢市文化ホール

桜 美 会

100点を超える作品が会場飾る

第49回一泉桜美会美術展開催

旧制金沢一中と新制泉丘高校の卒業生で構成する「一泉桜美会」の会員と在校生による「第49回一泉桜美会美術展」は12月7日から12月12日まで、金沢21世紀美術館の市民ギャラリーで開かれ、同窓生、在校生、市民、修学旅行の学生たちで賑わった。

会員35名が60点の作品を、在校生が44名で44点の作品を出展、会員の絵画や書道部門で大作も見られ、会場を盛り上げた。近年は写真の点数が増え、会場を飾る中、篆刻や昨年度入会した泉丘・17期の徳野光宏さんの木彫刻作品が来場者の目を引いた。会員の出展構成は、絵画47%、写真33%、書・刻字10%、陶芸・彫刻等その他7%であった。

在校生のしっかりとした作品も目を引いた。在校生の出展構成は、絵画36%、写真21%、書43%であった。
(藤島寛仁=泉丘18期、一泉桜美会事務局長 記)

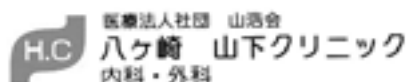


書や絵画などが展示された会場=金沢21世紀美術館市民ギャラリー



代表取締役社長 川端 敏弘 (泉丘42期)

ジェニユイン・パートナーズ株式会社
〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町5-1
兜町第1平和ビル3F
TEL (03) 5847-7915
Mobile : 090-7220-7605
<http://www.genuine-partners.co.jp/>
E-mail : tkawabata@genuine-partners.co.jp



理事長 院長 山下 茂一 (泉丘32期)

〒272-0023 千葉県松戸市八ヶ崎6-56-12
TEL (047) 702-7858 TEL (047) 702-7870
E-mail : hachigasaki3661@ba.wakwak.com

株式会社
エンバイオ・ホールディングス

代表取締役社長 西村 実 (泉丘29期)

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-2-2
神田パークプラザ8F
TEL (03) 5297-7155 FAX (03) 5297-0581
<https://enbio-holdings.com/>

旧制金沢一中として55年、新制一高・金沢泉丘高校として75年。母校は来秋（令和5年10月15日）、創立130周年を迎えます。この節目の年を前にして最後の一中卒業生の一人・一中55期の上田総一郎さん（91歳、金沢市）から「一中時代の思い出」を綴った貴重な投稿をいただいたので紹介します。

一泉創立130周年直前投稿 上田総一郎さん（一中55期）

上田総一郎さん



私は知らなかったのですが、皆さんは「臍（ひかがみ）」という言葉をご存知ですか。広辞苑によれば臍（ひかがみ）とは「膝（ひざ）の後ろのへこんでいる所」とあります。

私は昭和18（1943）年4月に石川県立金沢第一中学校に入学しました。一中55期生です。当時の金沢には県立の普通中学校が3校あり、金沢一中はその中の一つで、一学年の定員は200名、五学年まである男子校でした。入学時は太平洋戦争真っただ中で、生徒は全員ゲートル巻きで登校しました。

学校には小銃や銃剣、飯盒（はんごう）などが数多く整然と格納された部屋があり、配属将校による教練の授業もありました。わが校の配属将校は初老の陸軍中佐で、背筋の通ったいかにも軍人らしい厳格な方でした。教練と言っても上級生には射撃訓練などがありましたが、新入り一年生の我々は集合や解散、整列、歩行など基礎的なものでした。

ある日の教練の時間のこと、最初に教官の厳しい訓示があって歩行訓練が行われました。教官を中心に円を描く様に一列になって歩くのです。歩調をとって姿勢正しく歩かなければなりません。教官から声をかけられた者は合格で、列外に出て小休止できます。私も大きく腕を振り、脚を高く上げて歩きました。次々と合格者が出て列外で休む人が多くなるのに、私には一向に声がかかりません。結局、終業のベルが鳴るまで歩き続けました。

少数の級友と共に不合格です。何故だろう。私は自分の不合格に納得できませんでした。その後、この小さな疑問がいつまでも心に残りました。

平成19（2007）年10月、金沢一中55期は卒業60周年の記念事業として文集「金沢一中の思い出」を出しました。一番多かったのは美川での勤労働員のことでした。回顧、追憶と懐かしい級友たちの便りの中に、M

君の「臍（ひかがみ）」という一文がありました。これで長年の私の疑問が解けたのです。

M君は一年終業と同時に陸軍幼年学校に進学した秀才です。教官の訓示をしっかりと聞いていました。『臍を伸ばして歩行せよ』。私はぼんやりと立っていて臍の言葉を聞き逃したのです。

敗戦から70余年、平和日本に臍を伸ばして歩く行進はありません。けれど唯一TVの中で見るができます。それは雨の神宮外苑で挙行された学徒出陣の閲兵行進です。出陣の学徒たちは隊列正しく臍を伸ばして行進しています。けれども、戦局はすでに日本の敗

色が濃厚でした。この行進は死の前線に向かう行進でした。これら先輩たちの中で幾人が無事

帰ることができたのか。私は今でもある種の感慨を持って見ずにはおられません。

時を経て思い出すのは遠い昔のことです。中学の5年間は毎日徒歩で通学しました。犀川神社から大橋を渡り、六斗林、地黄煎町、学校と旧鶴来街道と言われている道で、今思うと結構長い道のりを歩きました。当時、徒歩通学は普通で辛いと思ったことは無く、むしろ放課後の帰り道は楽しい時間でした。

サラリーマン川柳に

「ITで だんだん不便に なるくる」

と言うのがありましたが正にその通り。91歳。もう、社会の進展について行けない歳になりました。

×

×

臍（ひかがみ）という言葉は不思議な響きで私に迫ります。何か大和言葉を聞いているようです。M君の一文を読んで以来、妙に頭に取りつかれました。風呂に入った時は「臍、臍」と言って洗います。臍から脱したい。そんな気持ちもあってこの文を書きました。

臍（ひかがみ）に想う

同窓会幹事代行承ります。

TEL 0120-953-070

受付時間 月～金 9:30～12:00 / 13:00～17:00

同窓会のトータルプロデュース企業

株式会社 サラト



サラト 検索



株式会社 橋本確文堂

取締役会長 橋本勝郎
(泉丘12期)

金沢本社 〒921-8025 石川県金沢市増泉4-10-10
TEL: (076)242-6121 FAX: (076)243-7945
東京支店 〒105-0013 東京都港区浜松町1-18-12
TEL: (03)5472-7030 FAX: (03)5472-5101

www.mba.co.jp

新型コロナウイルスのまん延防止に取り組んでいた医療現場の頑張りや、ワクチン接種や種々の行動制限が功を奏したのか、昨秋あたりから石川県内でも感染者ゼロの日が次第に多くなり、ようやく暗くて長かったトンネルを抜けたのではなからうかと思われる状況が続いています。

私は二つの吟詠教室の講師と石川吟詠会金沢支部執行部役員として活動していますが、振り返ってみますとコロナ感染者が激増していた昨年は5、8、9

月と3カ月間も公民館での吟詠教室は閉鎖を余儀なくされました。生涯学習の一環としての同教室は高齢者の受講が多く、より以上に安全安心対策の励行に注意しなければなりません。

教室の皆さんと3カ月ぶりに顔を合わせたのは10月になってからでした。異口同音に「長かった」と自粛生活の疲れを吐露し、再会を喜び合ったものです。教室の始まる前に窓を開けて換気、開講中も入口のドアは開けたまま。手指の消毒、マスクの着用、使用後の

机や椅子の消毒と細心の注意を払い続けました。

詩吟は腹式呼吸でおなかから声を出しますので、ストレスの解消になります。それに記憶力も必要ですからボケ防止につながり、健康増進にも大いに役立ちます。始めるのは何歳からでもOKで、年齢にかかわらず上達が得られますので生涯学習には最適です。

養護教員だった私は60歳で定年を迎え、引き続いて1年間だけ新採教員の助言のため現場へ足を運びました。が、その後は詩吟教室を中心に渋川流剣詩

舞道詩舞教室も習い始めました。ほかに主宰の人生訓に惹かれて学んだ「雪垣」俳句、太極拳、プール運動など82歳になった今も多忙で充実した日々を過ごしています。年相応の病も1、2ありますが、これらパワーの原点は泉丘高校で学び、縁あって11年間も母校に勤めさせていただいたことへの感謝の念につながっていると思います。

一病とうまく付き合いながら、一日一日を大切に生きていきたいと思っています。

コロナ禍での生涯学習

泉丘10期 東野 昭子



投稿二題

2020年初頭から始まったコロナ禍は、社会に様々な爪痕を残しています。そんな中、少しは救いがあるかと思われるのが、今までの社会生活の見直しに寄与したことで、その代表的な例が「リモートワーク」の爆発的普及です。リモートワークとは、出社しなくてもインターネットを利用したビデオ会議やメールなどを用いて、自宅にいても会社にいるのと同様の仕事を可能にするというもので、特に評価されるのがビデオ会議です。いくつかの方式がありますが、その中

で「Zoom」方式が最も普及しているようです。1年前には、パソコン歴30年以上を自負する私ですら「Zoomって何？」という状態でしたが、語呂の良いワードと共にあっと言う間に世界に拡がり、会社での会議は勿論、個人的な集まりの場でも普通に使われるようになってきました。

そんな折、年に2～3回飲み会をしていたものの、コロナ禍に加え健康上の理由から顔をそろえることが困難になった同期生の中田啓、北條英俊、鷲田蔵の3

君に声をかけて、Zoomでおしゃべり会を持ちかけたのが昨年の4月頃。3君にはもろ手を挙げて賛同いただきました。Zoomが急激に普及した理由は「使いやすい」ですが、80歳超えには苦難の連続。教える方も教わる方も訳が分からず、怒号が飛び交うことも。しかし「習うより慣れる」で今では何事もなかったように、会話を楽しめるほどになりました。そうすると

人間欲が出て、4人だけではもったいない。もっと仲間を増やそうと思い立ち、現在は荒木二夫、茶

屋勝也、林政廣、福田太睦の4君が加わって月に1回、1時間ほどおしゃべりをしています。8人の居場所は茨城、鹿沼、大宮、川崎、東京、金沢、小松と点在していますが、距離や時間にも隔たりがなく、全員同じ場所、同じ時間を共有しています。

おしゃべりの内容は井戸端会議のようなもので、つけた名前が井戸端ならぬ「泉8端会議」。まだ公認されている訳ではありませんが、「いやばた会議」と呼称して楽しく続けています。

Zoom活用でミニ同窓会

泉丘8期 三納 吉二



金沢滞在を、真の金沢体験へ。

ANA
CROWNE PLAZA®

AN IHG® HOTEL
KANAZAWA

ANAクラウンプラザホテル金沢



一期一縁のおもてなし。

〒920-0853
石川県金沢市本町2-15-1(JR金沢駅兼六園口前)
TEL 076-234-1111(代) www.hnkanazawa.jp



一泉文庫管理表

2021年度寄贈分

寄贈・購入日	寄贈・購入別	書名	著者	購入・寄贈者
2021/5/25	寄贈	物語の共同体	西田谷 洋(泉丘37期)	西田谷 洋(泉丘37期)
2021/8/18	寄贈	句集 夢香山	櫻 敏子(泉丘8期)	福田 太睦(泉丘8期)
2021/8/18	寄贈	詩集 エーゲ海 旅みやげ	高橋サブロー(泉丘7期)	福田 太睦(泉丘8期)
2021/8/18	寄贈	詩編と詩論 サランコットの朝方に 山男の独白	高橋サブロー(泉丘7期)	福田 太睦(泉丘8期)
2021/8/18	寄贈	水明り 故八田與一追憶録(復刻版)	八田技師夫妻を慕い台湾と友好の会	福田 太睦(泉丘8期)

東大に15人、京大に18人合格 令和3年度入試前期

東大、京大など国公立大学の令和3年度入試前期合格者が3月10日までに発表され、母校・泉丘高校から東大15人(現役9人)、京大18人(同14人)が合格した。東大現役合格者のうち1名は推薦入試による合格である。

東大と京大の難関2大学の合格者数を他高校と比べてみると、石川県内では今年度も金大附属(東大7人、京大4人)、小松(東大3人、京大1人)、二水(東大1人、京大2人)を大きく上回った。富山県では富山中部(東大12人、京大9人)、高岡(東大13人、京大7人)、富山(東大2人、京大2人)であつた。

その他の難関国公立大をみると、阪大40人、神大16人、名大12人、北大11人、東北大7人、九州大5人、東工大3人であった。阪大の合格者40人は過去最多となる。

なお、地元の金大には58人(現役46人)、うち医学部医学科には9人(同8人)が合格した。国公立大学医学科全体の合格者は19人(同11人)であり、このうち東北大および神戸大に現役生が各1人ずつが合格した。

校舎正面フェンスが化粧直し

泉丘高校正面側にある高さ1.5mの鉄製フェンスが美しいチョコレート色に生まれ変わった。作業は10月中旬から11月上旬にかけて行われ=写真=、バス停から円光寺側150mの塗装が施された。正門を含む寺町側100mは来年度に行われる予定。



正確な記録は残っていないが、現校舎の全面改築が行われた昭和49(1974)年から59(1984)年の間に塗り替えられており、フェンス塗装

は40数年ぶりと思われる。錆が浮いてところどころ赤黒くなっていたフェンスは錆止めの下塗り後に仕上げられ、艶やかで校庭全体が落ち着いた雰囲気包まれた。化粧直しをしたフェンスに舞い落ちる春の桜吹雪が待ち望まれる。

同窓会や母校の様子はホームページでも

一泉同窓会の最新情報や母校の様子は「一泉同窓会公式ホームページ」でもご覧いただけます。金沢一中・泉丘高等学校の同窓会のお知らせや泉丘高校の話題をオンラインで触れていただけます。パソコンやスマートフォンでご確認ください。

URL <https://issen-dousoukai.org>

お手持ちのスマホで右記のQRコードを読み取ることでもご覧いただけます。



編集後記

先輩のバトンを受けて編集を担当させていただきました。さまざまなご案内をお届けする大役を果たせるよう精進して参ります。担当するに当たり「一泉」の創刊号に目を通せば、発行はくしくも当方が在校時の昭和55年。紙面には懐かしい先生方のお名前も。昭和、平成、令和と時が移り、とりわけこの2年間は新型コロナウイルスの影響で、授業や会議はオンラインに変わり、イベントが制限されるなど人々の暮らしは大きく変化しています。私たちはこれからどのように生き、どんな未来を描くべきか。これまでの常識はリセットされ、時代は変わっていきます。そんな時に先輩や同級生と出会い、後輩から刺激を受けることは大きな力になるのではないのでしょうか。草木が芽ぐみ、花開く春に新しい会報をお届けいたします。(か)

「一泉」編集室

中山一郎(泉丘10期) 小林弘子(同12期)
藤原 励(同23期) 加茂谷慎治(同34期)
東野理実子(同36期)
題字・普神貴行(一中56期・泉丘2期)